

中学生の「税についての作文」優秀作品
『十日町納税貯蓄組合連合会 優秀賞』

税金の大切さ。

十日町市立 吉田中学校 3年
馬場花音

「税金」と聞いてどんな事を思う人がいるだろう。だいたいの方は、「嫌だ」とか税金に対して負の事を考える人が多いのではないのでしょうか。たしかに、自分の給料から税金をとられ、物価は高い、などがあったり、不便だと感じるでしょう。しかし、税金は、世界を支える大事な物です。その事を忘れている人が多々いるのではないのでしょうか。

まずは、生徒たちが普段なにげなくつかっている教科書は、税金でみなさんに無料で支給されています。そして、私達生徒が快適に授業ができているのも税金が使われているからです。他にも警察署や消防署、市役所、公立病院など、さまざまな公共施設で税金が使われています。これらの税金の使い方によって世界は保たれ、私達は平和に健康に暮らせているのです。

ところでみなさんは、もし税金がなくなったらどうなるか、考えた事がありますか。よく「税金なくなればいいのに」という言葉を耳にします。そこで私は税金がなくなったら、世界はどうなってしまうのかと思いました。まず税金がなくなると、勉強を教えてくれる人がいない。家計の負担が増える。ゴミが街にあふれ不衛生になる。など、生活が不自由になったり、環境にも影響を及ぼします。なので税金は私たちの生活にとっても重要な物なのです。

私達が普段、なにげなく使い、なにげなく生活をしている中には、たくさんの税金が使われていて、私たちの暮らしを支えてくれています。税金があるからこそ、楽しく、幸せに過ごすことができるのです。なので、みなさん、少しずつで良いので、税金を前向きになり、改めて、税金の大切さを考え直してみてもどうでしょう。ぜひ、いろいろな視点を持ち、考えてみてください。なにか分かる事があるかもしれません。そして、考える、という事をする事によって、あなたの世界も少し変わってくるのではないのでしょうか。税金の大切さ、それは「私達が社会の一員として生活していくための会費」です。この事だけは忘れないでほしいと思います。